

倒れている人を見たら

～心肺蘇生の手順～

1. 両肩を軽くたたきながら声をかける

わかりますか？



2. 大声で助けを求め、119番通報とAED搬送を依頼する

誰か来てください！
人が倒れています。

あなたは119番
通報してください。
あなたはAEDを
持ってきてください。

反応がない又は
判断に迷う場合



3. 呼吸を確認する

胸と腹部の動きを見て、「普段どおりの呼吸」をしているか、10秒以内で確認します。



4. すぐに胸骨圧迫を30回行う

胸骨圧迫は胸の真ん中

普段どおりの呼吸がない又は判断に迷う場合



圧迫位置



5. 自分ができると判断した場合は、胸骨圧迫の後、人工呼吸を2回行う

約1秒かけて、胸の上がりが見える程度の量を、2回吹き込みます。



・人工呼吸の方法を訓練していない場合
・感染防護具がない場合
・血液や嘔吐物などにより感染危険がある場合
↓
人工呼吸を行わず、胸骨圧迫を続けます。

※ 感染防護具を使用しなくても感染危険は極めて低いと言われていますが、感染防止の観点から感染防護具を使用した方が安全です。

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返して行います。

6. AEDが到着したら

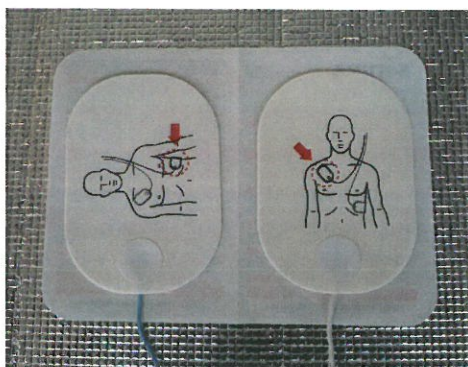
まず、電源を入れる。



ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。



7. 電極パッドを胸に貼る



電極パッドを貼る位置は電極パッドに書かれた絵のとおり、皮膚にしっかりと貼ります。
体が汗などで濡れていたら、タオル等で拭き取ってください。



8. 電気ショックの必要性は、AEDが判断するため、傷病者に触れないようにする。

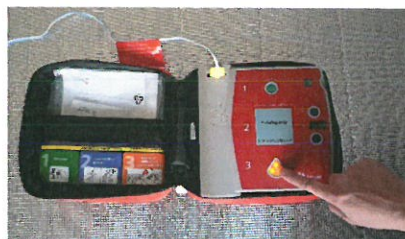
離れて下さい。

心電図解析中は、傷病者に触れてはいけません。



9. ショックボタンを押す

誰も傷病者に触れていないことを確認したら、点滅しているショックボタンを押します。



以後は、AEDの音声メッセージに従います。

心肺蘇生とAEDの手順は、救急隊に引き継ぐまでか、何らかの応答や目的のある仕草（例えば、嫌がるなどの体動）が出現したり、普段通りの呼吸が出現するまで続けます。